



鈴鹿医療科学大学

市民公開講座

インクルーシブ防災による地域づくり

－高齢者・障がい者とともに防災を考える－

インクルーシブ防災とは、“誰一人取り残さない”防災を実現するための考え方です。これまでの災害では、高齢者・障がい者が多く被害にあってきました。近年、日常的に当事者と一緒に防災を考えることで、地域の人たちの繋がりを作っていく取り組み・地域ミーティングが全国各地で行われています。南海トラフ地震の発生も予想される中、みんなが助かるためのインクルーシブ防災について考えたいと思います。



講師：迫田 朋子

1980年3月 東京大学医学部保健学科卒。
同年4月 日本放送協会入局。アナウンサー、解説委員、エグゼクティブ・ディレクターをつとめる。
NHKスペシャル「人体2～脳と心～」、「セーフティネット・クライシス」や福祉関連の番組を制作。東日本大震災後は、「復興サポート」などの制作に携わる。
専門は、医療、介護、福祉、市民活動。
2016年6月 NHKを定年退職。
現在は、フリーのジャーナリストとして、映像制作や執筆活動のほか、インターネット放送局「ビデオニュース・ドットコム」で発信を続けている。



開催日時

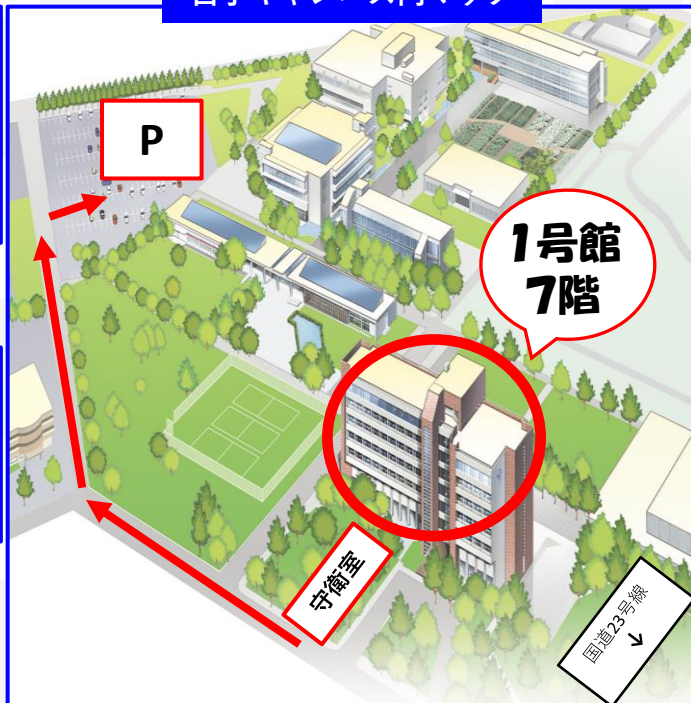
令和5年 **11**月 **18**日 (土)
13時半～15時 (入場開始：**13時～**)

場所

鈴鹿医療科学大学 **白子キャンパス**
1号館7階 (鈴鹿警察署前)
三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3

入場無料 事前申込不要
定員：100名程度

白子キャンパス内マップ



お問合せ：鈴鹿医療科学大学 企画広報課

☎ 059-340-0330

☎ 059-340-0550 (開催日当日)

※天候不良等で開催中止になった場合は、本学ホームページでお知らせします。